

宗像市議会
議長 神谷 建一 様

予算決算第2特別委員会
委員長 岩岡 良

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第68号議案から第73号議案までの6議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、令和5年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

第68号議案 令和5年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔事業勘定〕

- 歳入決算額 103億2,456万4,661円（前年度比0.9%減）
歳出決算額 102億2,147万3,503円（前年度比1.0%減）
歳入歳出差引額 1億 309万1,158円
- 団塊の世代が後期高齢者医療保険に移行しているため、令和7年度までは被保険者数の減少が続くことが想定されている。
- 保険給付費はこれまで増加傾向にあったが、被保険者数の減少及び新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで診療報酬上の特例が見直された結果、令和5年度は減少に転じた。
- 本市は被保険者のうち高齢者が多くの割合を占め、近隣に国立病院や総合病院もあり医療機関へアクセスしやすいことから市民の受診件数も多く、1人当たりの医療費が県内の類似自治体の中で最も高くなっている。
- 運動施設利用料金助成事業の対象施設拡大やふくおか健康ポイントアプリ、ホームページ、SNSなどによる啓発、電話等での勧奨などの取組によりコロナ禍から特定健診・特定保健指導の受診率及び実施率が上昇している。
- レセプト点検では、委託業者のノウハウや点検員の技量により、縣市町村平均を大きく上回る効果額を出している。
- ジェネリック医薬品の普及促進では、差額通知や薬剤師会と連携した利用勧奨の実施により、入院を含む数量ベースでの普及率は84.4%と昨年度を上回った。
- 令和5年度の国民健康保険基金残高は15億1,243万9,200円であり、今後、被保険者のために基金の活用を検討していく。

〔直営診療施設勘定〕

- | | | | |
|---------|--------------|-----|--------------|
| 1 歳入決算額 | 6,853万 | 44円 | (前年度比19.0%減) |
| 歳出決算額 | 6,513万5,522円 | | (前年度比18.4%減) |
| 歳入歳出差引額 | 339万4,522円 | | |
- 2 歳入では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、PCR検査、ワクチン接種等の診療収入が減少した。
- 3 歳出では、診察室のエアコン更新に伴い施設整備費が増加したが、令和4年度に実施した電子カルテシステムや調剤支援システムの更新、超音波診断装置の買換え等医療用機械器具の更新が令和5年度にはなかったため、医業費が大きく減少した。

【意見】

(賛成意見)

- ・レセプト点検調査、ジェネリック医薬品の普及、特定健診・特定保健指導の実施など医療費の適正化対策の実施状況から、市民のためにきめ細かい対策を実施できていることが分かった。
- ・医療を受ける前の特定健診・特定保健指導に取り組んでいることを評価する。今後は医療機関のない地域でも、DXなどによって対応することで、公平に医療が受けられる環境を整備してほしい。

(反対意見)

- ・令和5年度の国民健康保険税は、医療給付費分は据え置いたが、後期高齢者支援金分や均等割額、平等割額などは引き上げ、経済的に厳しい状況にある被保険者に大きな影響を与えた。そのような中、厳しい状況にある滞納者に対しては、市民に寄り添ったきめ細かい対応をしてほしい。今後、約15億円ある基金を活用した子どもの均等割の減免対象拡充など、少しでも被保険者の負担が軽減できるような市独自の支援策を考えるべきである。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

第69号議案 令和5年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- | | | |
|---------|-----------------|-------------|
| 1 歳入決算額 | 18億3,176万8,419円 | (前年度比3.8%増) |
| 歳出決算額 | 17億8,416万4,909円 | (前年度比3.8%増) |
| 歳入歳出差引額 | 4,760万3,510円 | |
- 2 被保険者数の増加により、歳入及び歳出決算額が増加した。令和5年度の被保険者数は1万6,031人で、前年度比771人、5.1%の増となった。

【意見】

(賛成意見)

- ・国や県で決まっている手続きに基づき、適切に対処している。

(反対意見)

- ・今後の被保険者数の増加傾向を考えると、ますます負担は重くなると予想される。制度の持続可能性について市長には全国市長会などで声を上げてほしい。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

第 70 号議案 令和 5 年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 80億5,819万5,746円（前年度比1.5%増）
歳出決算額 78億4,984万3,252円（前年度比2.2%増）
歳入歳出差引額 2億 835万2,494円
- 2 上昇する高齢化率に対し要介護認定率が13.7%と上昇を抑えられているのは、介護予防・日常生活支援総合事業や日常生活圏域全てに整備している地域包括支援センターでの総合相談機能の充実、介護予防事業などの取組の成果によるものと考えられる。
- 3 団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年前後までは高齢者が増加傾向にあるため、それに伴い介護給付費も増加すると考えられる。
- 4 市内の介護保険事業所の閉鎖理由には、管理者不在や法人の事業譲渡、人材の確保ができないことなどが挙げられる。
- 5 市のローカルルールにより煩雑化している手続について、簡略化などの要望が事業所からあったため、提出書類の見直しなどを進めている。

【意見】

（賛成意見）

- ・介護予防事業の適正な運用によって要介護への移行を抑制できていることを評価する。健康な高齢者へのインセンティブを市独自で検討してほしい。

（反対意見）

- ・職員がきめ細かに対応している点は評価するが、市町村を競い合わせる国の交付金制度は問題であり、利用者が十分に介護保険サービスを受けられない状況をつくり出しているのではないかと考える。介護サービスの受皿となる事業所が閉鎖しないよう基金を活用した支援策を検討すべきである。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

第 71 号議案 令和 5 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4,740万7,141円（前年度比1.8%増）。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、令和5年度は16合議体で延べ251回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で5,056件、その割合は宗像市が60%、福津市

が40%である。

- 3 歳出の主なものは、認定審査会委員等の報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第72号議案 令和5年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに6億6,652万5,178円（前年度比24.7%増）。
- 2 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことやSNSでの情報発信効果の影響によって、大島航路における利用者数は前年度より5%増加した。生活での利用が大半を占める地島航路では、島民の人口減少や急激な高齢化に伴って利用者数は減少に転じた。

【意見】

（賛成意見）

- ・このままでは少子高齢化が進行し、離島での生活が成り立たなくなると考える。先進自治体の調査・研究を行うとともに、島の活性化につながるような施策を検討してほしい。
- ・島民の生活航路の安全性を確保していただいているため、今後も堅持してほしい。今後の船舶体制については島民としっかり話し合っ進めてほしい。大島や地島、神湊も含めたエリア全体の振興策を検討してほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第73号議案 令和5年度宗像市下水道事業会計決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	29億6,979万8,088円
支出決算額	25億7,217万9,774円
- 2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	3億7,917万9,000円
支出決算額	14億3,626万307円

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補填している。
- 3 経営の健全性を示す経常収支比率は、営業外収益の減少に伴い、前年度比1.0ポイント減の115.3%、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比0.4ポイント減の95.7%となった。

- 4 年間総処理水量は1,120万9,645立米で、前年度比4.6%の増となった。また、年間総収水量は931万1,145立米で、前年度比0.3%の増となった。
- 5 管路の耐用年数は50年で、現在は市内の管路の約3%が老朽化しているが、毎年管更生工事を行うことで予防保全を行っている。また、日の里地区ではすでに対策が終了し、令和5年度は自由ヶ丘地区などに取り組んだ。
- 6 浸入水防止対策として、ストックマネジメント計画に基づき年間約1.4億円をかけて管路の老朽化対策に取り組んでいる。

【意見】

(賛成意見)

- ・下水道事業に鋭意努力していることに感謝するとともに、今後の職員の努力と意識の向上などに期待する。

(反対意見)

- ・物価高騰で厳しい状況の中、下水道使用料の負担を課すことがないよう一般会計の繰入れも検討すべきである。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

第75号議案 令和6年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ9,844万円を増額し、107億8,012万6千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出それぞれ16万9千円を増額し、8,293万4千円とする。また、債務負担行為の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔事業勘定〕

- 1 令和5年度事業勘定決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額する。直営診療施設勘定決算額の確定に伴い、歳入で基金繰入金を減額し、歳出で繰出金を減額する。
- 2 マイナ保険証の導入に伴う被保険者への通知について、被保険者証の更新と合わせて行うことで郵送料が節減できたため、総務管理費を減額する。
- 3 10月からの郵便料金改定に対応するため、各項において通信運搬費の見直しを行う。

〔直営診療施設勘定〕

令和5年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。また、インボイス制度に対応するため、施設管理費において課税取引に係る消費税を計上する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第76号議案 令和6年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ1,946万2千円を増額し、20億7,317万8千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 令和5年度決算額の確定に伴い、歳入で一般会計繰入金を減額して繰越金及び雑入を増額し、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。
- 2 10月からの金融機関における公金取扱手数料の有料化に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。
- 3 10月からの郵便料金改定に対応するため、総務管理費及び徴収費を増額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第77号議案 令和6年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ2億2,128万6千円を増額し、83億243万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 令和5年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で基金積立金、償還金及び還付加算金を増額する。
- 2 インボイス制度に対応するため、総務管理費において課税取引における消費税を計上する。
- 3 10月からの郵便料金改定に対応するため、各項において通信運搬費を増額する。
- 4 当初見込みよりサービス利用者数が増加したため、介護予防・生活支援サービス事業費及び包括的支援事業・任意事業費を増額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第78号議案 令和6年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ1,864万7千円を増額し、6億4,153万1千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

当初予算計上後に発生した不具合や資材の高騰によって、ドック入渠による中間検査及び修繕費用の不足が見込まれたため、運航費を増額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 79 号議案 令和 6 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について

収益的収入及び支出において、収入を 5 0 1 万円減額し、収入総額を 2 9 億 7, 6 8 3 万 4 千円に、支出を 7 6 4 万円減額し、支出総額を 2 7 億 1, 0 9 8 万 1 千円とする。資本的収入及び支出において、支出を 1, 0 7 0 万円増額し、支出総額を 1 6 億 4, 2 1 1 万 1 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和 5 年度決算額の確定に伴い収益的収入及び支出を減額し、田久地区における雨水対策の予備設計を前倒しするため資本的収入及び支出において建設改良費を増額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。